

中野区教育委員会会議録

令和元年第29回定例会

令和元年10月25日

中野区教育委員会

令和元年第29回中野区教育委員会定例会

○日時

令和元年10月25日（金曜日）

開会 午前10時00分

閉会 午前10時22分

○場所

中野区役所5階 教育委員会室

○出席委員

教育委員会教育長 入野 貴美子

教育委員会委員 渡邊 仁

教育委員会委員 田中 英一

教育委員会委員 小林 福太郎

教育委員会委員 伊藤 亜矢子

○出席職員

教育委員会事務局次長 戸辺 眞

参事（子ども家庭支援担当） 小田 史子

子ども・教育政策課長 永田 純一

学校再編・地域連携担当課長 伊藤 廣昭

保育園・幼稚園課長 濱口 求

指導室長 宮崎 宏明

学校教育課長 石崎 公一

子ども教育施設課長 塚本 剛史

子ども特別支援課長 中村 誠

○書記

教育委員会係長 落合 麻理子

教育委員会係 香月 俊介

○会議録署名委員

教育委員会教育長 入野 貴美子

教育委員会委員 小林 福太郎

○傍聴者数

8人

○議事日程

1 報告事項

(1) 教育長及び委員活動報告

① 10月18日 中野本郷小学校訪問

② 10月19日 中野区立小中学校特別支援学級連合運動会

(2) 事務局報告

①旅館業の営業許可に係る意見の申出状況について（子ども・教育政策課）

○議事経過

午前 10 時 00 分開会

入野教育長

おはようございます。

定足数に達しましたので、教育委員会第 29 回定例会を開会いたします。

それでは議事に入ります。

本日の会議録署名委員は、小林委員をお願いいたします。

本日の議事は、お手元に配付の議事日程のとおりでございます。

<教育長及び委員活動報告>

入野教育長

それでは議事に入ります。

報告事項に入ります。まず教育長及び委員活動報告をいたします。

事務局から一括でご報告をお願いします。

子ども・教育政策課長

10 月 18 日金曜日、中野本郷小学校の訪問、児童との対話集会を実施いたしました。入野教育長、渡邊委員、田中委員、小林委員、伊藤委員にご出席いただきました。

10 月 19 日土曜日、中野区立小中学校特別支援学級連合運動会に入野教育長、渡邊委員がご参加されました。

以上でございます。

入野教育長

それでは各委員から補足、その他活動報告がございましたらお願いいたします。

田中委員

中野本郷小学校の訪問に参加してきました。

最初に校長先生から学校の様子を報告いただいたのですが、中野区の学力にかかわる調査だとか体力調査の結果を見て、中野区の平均に達していないところはこんな取組をしているとか、あるいは中野本郷小学校をもじって「本の郷」という地域の人たちが子どもたちに読み聞かせをする活動を続けてきた結果、聞く力が伸びてきているとか、そういった教育委員会では実施している調査を、学校活動の中でしっかり活用していただいていることを報告いただいて、大変よかったなと思いました。

あともう 1 点、児童との対話集会で、子どもたちから中野本郷小学校の未来に向けてと

ということで、今の校舎の残してほしいところとか、あるいはこれからこうしてほしいとか、すごく積極的な意見をたくさんいただきました。

感心したのは、動物を飼育しているのですけれども、それが非常に隠れた裏のほうにあつて、子どもたちが一生懸命世話をしているのに、なかなか目に触れないので、校門の近くにそういうのがあったら、こういった施設を利用して、地域の人たちともっとかかわりを持てるのではないかと、非常に広い視点で子どもたちがいろいろ考えていてくれたことに、大変よかったなと思いました。

以上です。

入野教育長

ありがとうございました。ほかにございますでしょうか。

渡邊委員

私も中野本郷小学校に行ってみりました。

中野本郷小学校、行くのは何回目かになるのですけれども、とてもすばらしい学校で、一つの特徴として、グリーンガーデンというところがこの学校にはあるという。それを用いて、いろいろな教育活動が行われている。これも一つの大きな特徴になっているのだろうなど。中野本郷小学校自身の校庭はそんなに広くはないのですけれども、こういうものがあるのと、校庭をちょっと広くとると、どうしても決まったスペースの中でやらなければいけないのですけれども、そういう意味では考えさせられる学校であったかなと思っております。

私、個人的には、校庭のトラックが50メートル小さくなるとちょっと問題だと思うのですけれども、30メートル小さくなるのだったら、こういったものを学校において、教育活動の一環として、こういうものを用いて、特色のある学校づくりをするというのも、確かにありかなと思いました。

屋上とか、プールも見学してきましたが、屋上も、やはり活用の仕方によっては大きなスペースとして活用できる場所であるなということで、屋上を単純に開放できない理由はあるのですけれども、そういった意味で、しっかりと安全性を確保しながら、こういったものも活用すれば、それなりに活動の、教育の場として使えるかなと。プールに関して、何度も言っているのですけれども、冬の間使えないということがあって、冬の間使えるようにふたをして、床としては少し弱いかもしれないのですけれども、何らかの活動に用いる方法とか、そういった工夫もしなければ、狭い土地の中でやっていけない。そういうこと

によって、グリーンガーデンみたいなものができるのかなという形で、この学校を歩きながら見てまいりました。

あと、いろいろと周りの影響というか、どうしても中野本郷小学校は、大通りに面しているわけではなくて、非常に中に入り込んだところなので、ご近所との距離とか、そういったところも気になるところではありましたが、そのあたりは学校と地域と、うまく共存していただくということが必要なのかなと感じました。

授業の内容ですけれども、授業については、一つの課題として、電子黒板が入っていて、どのように活用されているのかということの一つの視点としても見ておりました。全体的には、みんな子どもたちも一生懸命授業に取り組んでおられて、そういった意味でとてもよかったのではないかなと思います。

対話集会のときに、6年生代表児童の基調提案として、子どもたちにプレゼンテーションしていただきました。スライドをつくって、素晴らしい内容のプレゼンテーションで、子どもたちがここまでできるのかなというぐらい、私としては感銘を受けました。その後のグループセッションに関しても、非常にリーダーが一人ひとりにちゃんと気配りをして、全員が答えられるような、そういう形にして、討論自身も、子どもたちも慣れているのか、とてもスムーズに討論に入れていて、とてもよかったと思います。

最後に給食ですけれども、私、6年生のところで給食を食べました。少し給食は騒がしくて、愉快地食べさせていただいたのですけれども、麦飯だったのか、麻婆豆腐と、とてもおいしくて、実際おかわりしたいぐらいの気持ちで食べさせていただきました。

あと、連合運動会のほうにも私は参加させていただきました。午後1時40分からのセッションで、皆さんの合同の演技を見せていただきました。そして、こういった機会、特別支援学級の連合運動会のいいところは、小学生と中学生が一堂に会して集まる。そういう意味で、先生方も中学に行ったときの姿とか、特別支援の場合は、発達というものと、いかに頑張っているかというのは、非常に気になるところではありますので、そういったことが一堂にして見える。その中で、共同して行うという作業と、あと全体でリレーを行うと。僕が全体演技とリレーを見てきたのですけれども、とても盛り上がっておりましたし、観客の中に、かなり昔の、20年前の先生方、個人名は避けたいのですけれども、先生方も何人も見に来られていて、そういった意味で、学校を、子どもたちをみんな愛してくれているのだなという思いが、久しぶりに懐かしいお顔の先生方にもお会いできましたし、素晴らしい内容だったのではないかなと思います。

体育館、ちょっと狭くてかわいそうなのですけれども、もうちょっと広ければいいなどは思いますけれども、物理的なところはどうしようもないので、この運動会を一生懸命これからも続けていただきたいなと思っております。

以上です。

伊藤委員

今、お話のあった中野本郷小学校なのですが、子どもたちのプレゼンや、その後の話し合い、あるいは給食のときにも、子どもたちがグリーンガーデンをととても気に入っていて、グリーンガーデンをもっと広げてほしいという意見も出ていて、そのことがとても印象的でした。

きっと教育活動の中で、とても巧みにグリーンガーデンを活用してくださっているので、そういう意見が出るのだらうなと思うのと同時に、そのことによって、子どもたちがすごく思考力というか、一つずつ自分でコミットメントして、種をまいて、どうやったら育つのかというようないろいろなプロセスを、1年生のときから6年間積み重ねていけるということはすごいことなのだということを改めて思いました。思考力とか、地域につながるとか、いろいろな広い視点、たくさんのプラスの教育的な効果もありますし、やはり自分たちの学校はこれがあるのだという、学校への愛着にもなっているのだなと思ひまして、思った以上にグリーンガーデンの大切さということを感じました。

それと同時に、お話にもありましたけれども、どういう校舎というか、校舎改築に当たって、どういうことを望むかということ、子どもたちが自分たちでアンケートをとって、発表してくれたのですけれども、それをこちらのほうとしては、子ども教育施設課の方も同行していただきましたので、子どもたちにとっても、そうやって意見をまとめたことを直接、教育委員会の人に伝えられたということで、すごく意味があったのではないかなと思ひました。

以上です。

小林委員

私も中野本郷小学校について、簡潔に述べたいと思ひます。二つ、お話をしたいと思ひます。

一つは、やはり児童との対話集会でいろいろお話を聞いて、子どもたちの柔軟な発想というのですか、大人にはない感覚というか、もちろん全てを現実に向けてというのはなかなか難しいかもしれませんが、特に今回は新校舎に望むことということで、お話が

あったわけですがけれども、非常にその発想の豊かさというのは、やはり子どもから学ぶことが多いなど、しみじみ思ったことが1点です。

もう一つ、今、体育館に空調の機器が入っていますけれども、ここも建て替えの対象ではありますけれども、短期間でしようけれども、こうやって空調の設備を今、進めているということで、これは健康面、安全面、さらには何かあったときの緊急の避難場所も含めて、非常に有効だなと感心しました。

恐らく、こういった計画をどんどん進めていると思うのですけれども、一応改めてこういうのを見て、その良さを実感したというところであります。

以上です。

入野教育長

ありがとうございました。

では私のほうからは、中野本郷小学校、私も一緒に参観をいたしました。授業も大変落ちついて、子どもたち、一生懸命やっていたのですが、特に6年生の算数の授業が2クラス4展開、都の少人数対応の加配の教員だけですと3展開なのですが、区のほうの任期付短時間教員も一緒になって授業をしておりましたので、4展開で授業をしているという状況は、子どもたちにとっても非常にいいのだなというのを感じたところでございます。

対話集会のほうは、子どもたちが自分の学年だけではなくて、下の学年の子どもたちにもアンケートをとってまして、その結果気に入っている場所、改善してほしいこと、新校舎に望むことと、それぞれの理由も含め、分析的に、非常にプレゼンが能力高いなと思いましたが、発表していたのが印象的でした。

新校舎に望むことということでは、いろいろな意見が出たのですけれども、自分たちの夢を語るだけではなくて、使うにはこういう心配もあるけれど、こういうルールをつくれればいいというところまで意見として発表しているところが、私としては印象に残ったところでございます。

司会も上手でございましたので、賛成、反対の意見、それから修正意見というようなものが出て、楽しい時間でした。私たちとしても参考にしていかなければいけないかなと思います。

最後、その後改めて、改築を控えている中野本郷小学校でもございますので、子どもたちのお気に入りの場所の第1位であるグリーンガーデンや、改善してほしい場所として挙がっていたプールや飼育小屋などの施設を含めて、敷地全体を子ども教育施設課の担当者

と一緒に、校長先生のお話を聞きながら改めて見させていただいたということでございます。有意義な時間でしたが、これをまた有効に活用していけたらと思います。

19日には中野体育館で行われました、もう第57回になるのですが、中野区立小中学校の特別支援学級連合運動会に参加して、ご挨拶をさせていただきました。小中9校の162人の子どもたちが、一人一人が力いっぱい、みんなで心を合わせて応援したり競技をするということが非常に印象的でした。小学生のかわいらしさと、中学生のたくましさにあふれた運動会だったと思います。保護者の方や先生方のご指導やご協力の賜物かなと思います。

あわせて、同じ中学校の中学生がボランティアとして、いろいろな場面で活躍していたのも印象的でした。日ごろの仲間の応援ということでも、大変有効な活動をしていたと思います。

そして最後でございますが10月20日、日曜日に私立八幡学園の創立記念式典に参加いたしました。といいますのは、やはたみずのとう幼稚園が10周年の創立記念と、やはた幼稚園自体の70周年が一緒だったのですが、私としましては、以前指導室におりましたときに、区立みずのとう幼稚園からやはたみずのとう幼稚園の移行期に当たっておりましたので、そういうこともありまして、創立記念式典は感慨深く参列させていただきました。

以上でございます。

その他、よろしいでしょうか。

なければ委員活動報告を終了いたします。

<事務局報告事項>

入野教育長

続いて、事務局報告に移ります。

事務局報告の1番目、「旅館業の営業許可に係る意見の申出状況についての報告」をお願いいたします。

子ども・教育政策課長

それでは、旅館業の営業許可に係る意見の申出状況につきまして、ご報告を申し上げます。

旅館業法第3条第4項の規定に基づく保健所長から教育委員会への意見の求めに対しまして、従前の例によりまして、教育委員会の意見の申出の状況につきまして、7月から9月の期間におけます処理状況につきまして、ご報告をさせていただくものでございます。

保健所長から求められた意見については、記載のとおりでございます。

教育委員会の意見の申出の状況でございます。7月から9月にかけて、回答の件数としましては、旅館・ホテルの営業許可につきまして5件でございます。その内訳につきましては、別紙を用意させていただいております。

5件でございます。このうち、2番と4番が中野区、1番と3番と5番が新宿区ということでございます。このうち4番につきましては、プールとの距離が近いといったことから、意見につきましては、4番目の項目につきましては、①から④について、意見とさせていただきます。プールを見通すことを遮るような工夫を凝らしていただきたい。そういう要請をさせていただきます。

ほかにつきましては、①から③のとおりということでございます。

この④の案件につきましては、この意見をお伝えさせていただきましたところ、保健所のほうから申請者に対しまして指導していただき、窓に視線を遮る造作をしていただいたということを保健所のほうで確認をしていただき、許可となったと確認をしているところでございます。

ご報告は以上でございます。

入野教育長

ありがとうございます。ただいまの報告につきまして、質問等ご発言がありましたらお願いいたします。

小林委員

この申請の5件のうち、3件が、学校からは至近距離でありながら、新宿区というか、中野区ではないということで、区をまたぐというか、そういう状況の中で、何か今後こういうことをやっていく上で、問題が起きたようなときとか、想定される支障とか何か、あるのでしょうか。

子ども・教育政策課長

法に基づきます保健所長からの意見の照会につきましては、中野区の保健所であっても、新宿区の保健所であっても、手続としては同様でございます。

ただ、運用の過程において、何らかの支障があった場合には、やはりその保健所に対して、連携をとって指導を求めるとか、そういったような体制をとっていく必要があると考えてございますので、やはり区境というところで、そのあたりについてはしっかりと事務的な連携をとってまいりたいと考えてございます。

入野教育長

よろしいでしょうか。

それでは本報告は終了いたします。

それでは最後に事務局から次回の開催について報告願います。

子ども・教育政策課長

次回の開催につきましては、11月1日金曜日午前10時から、当教育委員会室にて予定
してございます。

以上でございます。

入野教育長

以上で本日の日程が全て終了いたしました。

これをもちまして、教育委員会第29回定例会を閉じたいと思います。

ありがとうございました。

午前10時22分閉会